

⑤ 絞りを開けたら、シャッター速度は（上げなければ）ならない。

⑥ 絞りを閉じたら、シャッター速度は（下げなければ）ならない。

⑦ $f4$ 、 125 分の 1 秒が適正露出の時、絞り値を $f2$ に変えた。その時のシャッター速度は（ $C::500$ 分の 1 秒）である。

⑧ $f16$ 、 125 分の 1 秒が適正露出の時、シャッター速度を 2000 分の 1 秒にした。その時の絞り値は（ $D::f4$ ）である。

⑨ 絞りを固定した同一のレンズで、同じ被写体を 5 メートル、 3 メートル、 1 メートルの距離から撮影した。左記の A 、 U のうち、ピントの合う範囲に関して正しいのはどれか。なお、使用したレンズは 50 ミリ標準レンズである。

X ア、ピントの合う範囲が浅いのは、 5 メートル、 3 メートル、 1 メートルの順である。

O イ、ピントの合う範囲が深いのは、 5 メートル、 3 メートル、 1 メートルの順である。

X ウ、絞りを固定した同一のレンズでは、ピントの合う範囲は撮影距離とは無関係である。

⑩ 50 ミリ、 105 ミリ、 200 ミリの各々のレンズのうち、同一絞り値、同一シャッター速度の場合、最もバックをボカしやすいのは、（ $E::200$ ミリ）レンズである。

御隠居

「どれどれ、フムフム……。よく出来てる。満点だ。ちよいと聞いただけでわかるなんて……、熊さん、おめエ、素質あるねえ。てえしたもんだ」。

熊さん

「そりゃあ、オレは天才だからな」。

御隠居

「おだてりゃ、すぐこれだ。これで、基本的なボカし方はわかったな。じゃあ、熊さんよ。ちよいと聞くが、おめエさんの持ってきた最初の写真、もう一度見てみな。どうしたら、バックをうまく処理できるかい」。

熊さん

「そうでやすねえ……。先ずシャッター速度の許す範囲で、できるだけ絞りを開いてだな……。そんでもって、レンズが 35 ミリだから、バックをボカすにゃあ、ネエチャンから蹴飛ばされるくれえまで近づくしかねえでしょうねえ……」。

でも、そんな時、 105 ミリか 200 ミリを持ってたら、レンズを交換して、同じように絞りを開いて撮るでしょうねえ……。もちろん、望遠だから、ピント合わせには気を付けるでしょうが……」。